



## 思い出たくさん、修学旅行

6月26日(木)～27日(金)の1泊2日で、6年生が平泉・松島・仙台の修学旅行に行ってきました。天候が心配されましたが、移動の際の小雨程度で、大きな事故なく無事に修学旅行を終えることができました。

最初の見学地、世界遺産に登録されている中尊寺では、ガイドさんの案内のもと、金色堂の豪華絢爛な装飾に感動し、藤原氏の平泉文化や歴史を学ぶことができました。



昼食は、松島で仙台名物牛タンをいただきました。プレートに牛タン、ウィンナー、メンチカツなど豪華でおいしかったです。子どもたちの集合や行動が早かったので、予定にはなかった五堂を見学することができました。松島湾を船で遊覧し、語り部さんから震災当時の様子を伺い、命の大切さ、津波は何度も押し寄せてくることなどを学びました。1日目最後は、仙

台うみの杜水族館。日本や世界の海にすむ生きものたちを班ごとに見学しました。また、お土産を買う予定でしたが、修学旅行生で店内が混み合い、十分に買うことができない子もいました。いよいよホテル到着。仙台大観音の大きさに驚くとともにとても立派なホテルでした。夕食後、部屋で楽しく過ごし、9時30分に就寝。どの部屋もとても静かでした。

2日目は、自主研修です。仙台駅から出発し、自分たちで地下鉄の切符を買い、班で決めた見学先(仙台市科学館、八木山動物園、阿部蒲鉾店)で体験や見学をし、八木山ベニランドに集合しました。道に迷ったり、間違えてJRの切符を買ったりするなど、班員だけが知っているプチエピソードはたくさんあったと思いますが、班員で協力しながら、時間内に集合することができました。午後は、八木山ベニランドでアトラクションを時間いっぱい楽しみました。



事前学習で見学先を調べたり、バスの中のレクを行ったりするなど、係活動も行い自分たちで楽しい2日間を過ごすことができました。修学旅行のまとめは、授業参観に保護者の方に自分たちで取った写真をもとに、学習や思い出を発表しました。子どもたちが大きく成長できた2日間だったと思います。これからの生活、そして、さらなる成長が楽しみになりました。

(裏面に続く)



## 協力の大切さを学んだグリーンキャンプ・5年生



6月11日（水）～12日（木）5年生が国立岩手山青少年交流の家でグリーンキャンプを行いました。運動会后、2週間の短い期間ではありましたが、「Try, Try, Try」の目標に向かって準備を進め、自然の中で、自分たちで協力しながら生活することの大切さを学ぶことができました。

入所式の後、ショコラオリエンテーリングを行いました。交流の家周辺の自然の中に設置してあるポストを発見し、ポストに書かれている問題を解き、設定時間内にゴールする活動です。班ごとに声を掛け合い協力し合ってゴールしました。午後は、創作活動で「あけびつるクラフト」に挑戦。表札やドア表示など、つるを自分で工夫して個性豊かな作品を作ることができました。

クラフト製作中、外は雨が降り、夕方には止んだのですが、室内でのキャンドルの集いに変更しました。一人一人がLEDライトをもち、燭台に飾り付けて集いが始まりました。ダンスや各クラスで練習した出し物を披露し合い、大いに盛り上がりました。

2日目は、野外炊事です。カレーとご飯を作りました。火起こしが難しく、鍋で炊いたので、火加減が難しく、焦げができた班もあり、後片付けに時間がかかりました。でも、班員が協力して作ったカレーライスはとてもおいしかったです。

2日間の活動や事前、事後の取組を通して身につけた力をこれからの学校生活で発揮するとともに、高学年としてリーダーとしてさらに成長してほしいと思います。



## 花巻祭り山車の稚児、参加募集



7月1日の全校朝会で、花巻祭りについて、お話をしました。花巻祭りは400年以上も続く、花巻市民にとっては、地域の一大イベントです。花巻の町を開いたと言われる北松斎を称えて、1613年に山車をつくり、町内を歩いたのがきっかけで花巻祭りが始まったといわれています。

本校学区から山車は、若葉町、西大通りの2地区、神輿は、子ども会単位で参加しています。花巻祭りを盛り上げるとともに、郷土に対する思いを高め、地域の一員として貢献したり、地域の人と交流を深めたりする良い機会ですので、積極的に参加していただければと思います。山車参加についての文書を配付しておりますので、ご確認のうえ、明日までに申し込みいただくようよろしくお願いします。

## 訂正とお詫び



校報第2号掲載の田植えの記事に誤りがありました。

学習田は、田中淳一さん所有の水田で、面積は約7aとのことでした。大変申し訳ありませんでした。田中さんの日々の管理のおかげで稲は順調に生長しております。改めて感謝申し上げます。